

研究室 からの メッセージ

111

左から、後期課程ネパール留学生、二宮、ボカレル(トリブヴァン大学准教授)、シッダルタ病院主任看護師、ダマック病院看護部長、院生2名(国際保健看護論の講義風景)



Data(2014年3月現在)

所在地：〒719-1197 岡山県総社市窪木111
スタッフ：二宮一枝(教授)、難波峰子(教授)、渡邊久美(准教授)
URL <http://www.oka-pu/ac.jp/>

岡山県立大学大学院保健福祉学研究科*

看護学専攻 広域看護学講座

* 2015年度までは岡山県立大学保健福祉学部看護学科

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は1993年に「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として開設され、20周年目に保健師教育は大学院に移行しました。保健師教育の源流は、1941年創設の岡山県女子厚生学院を引き継ぐ岡山県公衆衛生看護学校まで、看護師教育は1962年開設の岡山県立高等看護学校(1973年に短期大学)まで遡ります。1997年には修士課程、2003年には博士後期課程を設置しました。2013年度に大学院を再編し、広域看護学講座において保健師養成を開始し、学士課程は看護師・助産師養成となりました。

Education

どのような教育をしていますか？

国際的な視野をもち、高度な知識・技術・研究能力と実践力を身につけ、「地球規模で考えながら、自分の地域で活動する」グローバル(グローバル+ローカル)な看護専門職育成をめざしています。国際保健看護論では、学部生も院生とともにプライマリーヘルスケアの視点でネパール等の保健医療の現状を理解し、院生はネパールの講師陣とのチームティーチングによる演習を予定しています。学部生は島嶼部における合宿研修において、生活者の視点で地域を看護することを学びます。

Research

どのような研究をしていますか？

教員の経験と専門性を活かし、行政保健師の活動や労働の質を高める方策、認知症の早期発見や療養生活支援ケアのための情報共有システム開発の研究を行っています。また、グローバル人材育成システム構築の基盤研究としては、ネパールおよび島嶼部におけるアクションリサーチに取り組んでいます。大学院生の研究は、健診・予防接種・ウォーキングの保健行動に関する研究、在宅高齢者や自閉症児の母親へのソーシャルサポート、訪問看護ステーション管理者や保健師のエンパワメントなどです。

Collaboration

地域の保健活動の現場とのつながりは？

保健師の生涯教育における地域貢献として、地域看護学研究会では、海外文献の読解や統計学の基本、地域看護診断のためのGIS(地理情報システム)入門などを学習しています。アクティブキャンパス「保健師実践講座」では、公衆衛生看護学校同窓会共催で「新しい公衆衛生看護学とこれからの保健師教育」、産業保健師と連携して「じぇじぇ!?な健康教育—こうすれば行動がかわる!プレゼンの極意」など、最新情報の発信に努めています。また、自治体や関係団体の事業運営に参画し、保健福祉計画等の策定や関係者の研修などに協力しています。

ひとこと

私たちは当事者・地域住民・実践現場の方々とともに、公衆衛生看護の専門性を追求し、地域に根ざした教育・研究活動により社会に貢献したいと考えています。……二宮

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 hokenshi@igaku-shoin.co.jp